

授業科目名	社会調査演習	担当教員	西崎 伸子
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	演習		
開講年次	1年第1・3クォーター		
講義内容	<p>社会調査は、文化人類学・社会学・地理学などの学問分野における基本的な研究手法である。この授業では、とくに文化人類学的な調査の基本と手法を修得することを目的とする。まず、授業全体のテーマ、あるいは受講生の関心にもとづいて、問題設定・仮説構成から、調査の計画・準備、実施(資料・データ収集)、分析に至るまでの調査の流れを示し、質的調査(参与観察・インタビュー)と文献調査の基本的技法が修得できるように演習をおこなう。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会調査に関する考え方・知識を身につける</li> <li>・社会調査を企画・実施することができる</li> <li>・社会調査を通じて、現代社会の課題を認識し深化することができる</li> </ul>		
授業計画	<p>1.2 授業のガイダンス・フィールドワークとは何か  3.4 文献研究の技法：① 基礎資料の概要と利用方法、②文献の検索・利用方法、Web を利用した文献の検索・利用方法  5.6 参与観察の技法：①参与観察とは、②参与観察によるエスノグラフィー  7.8 インタビュー調査の技法：①インタビュー調査とは、②インタビュー調査によるエスノグラフィー  9.10. エスノグラフィーの輪読①、現地調査の準備作業  11.12 エスノグラフィーの輪読②、現地調査の準備作業、前半のまとめ  13.14 現地調査の計画発表  15.16 現地調査の実施  17.18 現地調査の実施  19.20 現地調査の実施  21.22 調査データ(質的データ)の整理法：フィールドノートの整理、調査データのデジタル化、調査結果を公表する際の問題  23. 報告書およびプレゼンテーション資料の作成方法について  24. 最終プレゼンテーション</p>		
事前・事後学習	<p>配布資料で社会調査およびエスノグラフィーに関する文献リストを提示する。そのなかから関心があるものを読んでほしい</p>		
テキスト	<p>授業時に資料を配布する</p>		
参考文献	<p>授業時に適宜紹介する</p>		
成績評価の基準	<p>授業への積極的な貢献(2割)、報告書(4割：前期/後期)、プレゼンテーション(4割 前期/後期)で評価をおこなう</p>		

履修上の注意 履修要件	社会調査学を同時に履修すること（先修条件：社会調査学） 調査は授業時間外におこなうことがある。受講人数によってはグループワークをおもにおこなう。
実践的教育	該当しない。
備考欄	定員を超過した場合は抽選する。